

**令和5年度(令和4年度実績)**

**十日町市教育委員会  
事務の管理・執行状況 点検・評価報告書**

**令和5年8月**

**十日町市教育委員会**

# 目 次

|     |                               |    |
|-----|-------------------------------|----|
| 1   | 学校教育の充実 <学校教育課>               |    |
| (1) | 学力の向上                         | 1  |
| (2) | 不登校・いじめの減少                    | 2  |
| (3) | 特別支援教育の充実                     | 3  |
| (4) | コミュニティ・スクールの推進                | 4  |
| 2   | 教育環境の整備推進 <教育総務課>             |    |
| (1) | 子どもたちの「望ましい教育環境」整備の推進         | 5  |
| (2) | 学校教育施設・設備の整備                  | 6  |
| 3   | 生涯学習の推進 <生涯学習課>               |    |
| (1) | 越後妻有文化ホール「段十ろう」のホール事業の企画・運営   | 8  |
| (2) | 里山科学館としての企画展示・体験イベントの推進（キョロロ） | 9  |
| 4   | 公民館活動の推進 <公民館>                |    |
| (1) | 地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進          | 11 |
| 5   | 情報館活動の推進 <情報館>                |    |
| (1) | 図書館サービスの充実                    | 12 |
| 6   | 文化財の保護と活用 <文化財課>              |    |
| (1) | 文化財の保護と活用                     | 13 |
| 7   | 博物館事業の推進 <博物館>                |    |
| (1) | 博物館事業の推進                      | 15 |
| 8   | スポーツの振興 <スポーツ振興課>             |    |
| (1) | スポーツ振興事業の推進                   | 17 |
| (2) | スポーツ施設の管理と整備                  | 19 |
| 9   | 教育委員会の活動                      |    |
| (1) | 教育委員会の開催                      | 20 |
| (2) | その他の活動                        | 22 |
|     | (資料) (評価委員名簿、開催日等)            | 23 |

## 自己評価基準

- A…目標の達成に向けて、着実に進んでいる。(対策や事業が施され着実に進んでいる)  
B…目標の達成に向けて、概ね進んでいる。(課題等の整理がなされ、対策の実施が進められた)  
C…目標の成果に達しなかったもの

1 学校教育の充実

|               |  |
|---------------|--|
| 項 目           | (1) 学力の向上  |
| 令和4年度<br>重点目標 | <p>1 市教育センターを中核とした教職員の研修体制を確立し、教職員の指導力向上を図る。</p> <p>2 児童生徒の学力向上のための支援に努める。</p> <p>※ 令和5年4月実施の教研式全国標準学力検査「NRT」における全学年・全教科の標準偏差値の平均が、令和4年度4月の、小学校：50.9 中学校：48.7 を上回る。</p>  |
| 取組の状況         | <p>1 「居心地のよい学級づくり」推進事業・指導力向上事業<br/>学習の基盤となる学級が、すべての児童生徒にとって居心地のよい集団になるように、学級づくりの研修や学校訪問を行った。また、学習指導要領の内容を踏まえた若手教員に対する訪問個別指導や授業力向上のための各種研修を通して、教職員の指導力向上を図った。</p> <p>2 英語教育推進事業<br/>小学校外国語サポート訪問や授業力養成講座などの研修を実施し、教職員の指導力向上を図った。また、JET-ALTや英語推進員の派遣を行い、児童生徒への学習支援を行った。</p>                  |
| 結果・成果         | <p>1 教研式全国標準学力検査「NRT」（令和5年4月実施）<br/>学年・教科総合の偏差値平均が小学校で50.3、中学校で47.6となり、前年度に比べ、小学校では、0.6ポイント、中学校で1.1ポイント低下した。</p> <p>2 「居心地のよい学級づくり」推進事業<br/>心理アンケート「WEBQU」を小学3年生以上に拡充し実施することできた。また、WEBQUの見方・考え方やその結果を生かした学級づくりの研修を行い、学校現場から肯定的な評価を受けている。6月と11月の調査の比較では、11月の方が親和的な学級の割合が高く、本事業の成果が見られた。</p> |
| 自己評価          |  |
| B             |  |
| 課題・改善策        | <p>「居心地のよい学級づくり」をより推進するため、教職員への研修や学校訪問を実施し、親和的な学級の割合をさらに高める。加えて、日頃の授業づくりの参考として「十日町スタンダード10」を活用するとともに、外国語サポート訪問やエキスパート教員による模範授業、若手のサポート訪問、各種研修を行い、教職員の授業力向上を図る。また、GIGAスクール構想に伴うICT機器やソフトを活用した有効な学習支援を検討し、個別のニーズに応じた支援の充実を図る。</p>  |

評価委員会の評価・意見等

NRTの偏差値平均が小・中学校共に低下傾向にある。教職員の指導力向上や、子どもたちの学ぶ意欲の向上に向けて、市教委は危機意識を持って取り組んでほしい。

WEBQUの実施を拡充し、児童生徒及び教員に事業の成果が見られたことは評価できる。より有効に活用できるよう今後の取組に期待する。

1 学校教育の充実

|               |  |
|---------------|--|
| 項 目           | (2) 不登校・いじめの減少   |
| 令和4年度<br>重点目標 | <p>1 不登校の未然防止及び改善、いじめ、問題行動など生徒指導上の諸問題に対応した、きめ細やかな相談や支援に努める。</p> <p>2 市教育相談センターが中核となり、学校、家庭、地域、行政関係機関等と連携してネットワークの充実を図る。</p>  |
| 取組の状況         | <p>1 市教育相談センターと関係機関の連携による学校支援<br/>指導主事の計画的な学校訪問指導により、不登校対応やいじめ問題等における継続的な学校支援を実施した。<br/>相談員による定期的な学校訪問を通して、児童生徒や保護者、教職員の個別相談を受け、校内で課題を共有しながら組織的な対応を進めた。<br/>学校不適應の児童生徒に対して、市適應指導教室、医療機関、民間施設、児童相談所等の関係機関と連携し、自立支援を行った。</p> <p>2 生徒指導上の問題に対する組織力・対応力の強化<br/>不登校やいじめ防止対策の研修を年1回ずつ実施し、市や県の対応マニュアルの積極的な活用を各校に促し、実践力向上を図った。<br/>いじめ認知報告について、市教委への迅速で正確な報告体制を構築し、市教委が早期から学校を支援できるよう改善した。</p> |
| 結果・成果         | <p>1 不登校（不登校による欠席が年間30日以上）の児童生徒数<br/>小学生が前年度より4人増加の30人（1.35%※新規15人、継続15人）、中学生が14人増加の69人（6.29%※新規25人、継続44人）。小中学生ともに増加しており、人数及び割合ともに過去最多となった。関係機関との連携を継続し、児童生徒並びに保護者への支援に努めていく。</p> <p>2 いじめの認知件数<br/>小学生が前年度より22件減少の109件、中学生が41件減少の46件。小中学生ともに認知件数が減少した。今後も、各校における教職員の法令理解を一層進め、積極的ないじめ認知と組織的な即時対応の体制を推進していく。</p>   |
| 自己評価          |  |
| B             |  |
| 課題・改善策        | <p>不登校の未然防止及び改善の取組を一層充実させるとともに、きめ細やかな初期対応を適切に行う。また、学校・家庭等における、いじめをしない・許さない・命を大切にする意識の醸成を図る取組を支援していく。</p>   |

評価委員会の評価・意見等

学校不適應の児童生徒に対して、市の支援体制は整備されているものと思うが、不登校児童生徒が増加傾向にある。難しい問題ではあるが、児童生徒の将来的な自立に向けて、引き続き支援体制の充実を願う。

いじめに関してはきめ細やかな対応により、認知件数が減少傾向であり評価できる。引き続き、いじめの解消に向けて尽力してほしい。

1 学校教育の充実

|               |   |
|---------------|---|
| 項 目           | (3) 特別支援教育の充実   |
| 令和4年度<br>重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 一人一人のニーズにきめ細やかに応じるために特別支援教育の充実を図る。</li> <li>2 教職員の資質・指導力の一層の向上を図る。</li> </ol>  |
| 取組の状況         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「推進チーム」による特別支援教育の推進<br/>ふれあいの丘支援学校、通級指導教室設置校、市発達支援センター等の関係機関が連携した「特別支援教育推進チーム会議」を開催し、市特別支援教育の充実に向けた協議を十分に行った。</li> <li>2 教職員研修の充実<br/>ふれあいの丘支援学校の全面支援による「特別支援教育研修講座」を3コース（年8回）開設するとともに、各校の自主的な校内研修を促した。</li> <li>3 通級指導教室の開設と新設に向けた担当教員の育成<br/>開設した発達障害通級指導教室の円滑な運営を図るとともに、言語障害通級指導教室の増設に向けた担当教員の育成を県教育委員会の育成事業を活用して行った。</li> </ol>  |
| 結果・成果         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特別支援教育の充実に向けた学校支援<br/>「推進チーム」による学校巡回相談や発達検査、適正な就学に向けた各種相談や会議を進めたことにより、各校がインクルーシブ教育システムの理念に基づく特別支援教育を推進した。</li> <li>2 全ての教職員の専門性の向上<br/>通常の学級の担任や管理職を対象とした研修講座を開設し、特別支援学級担当者のみならず、多くの教職員が受講できる体制を整備した。さらに、市講座の校内伝達講習を推進したことから、99.7%の教職員が特別支援教育に関わる研修に参加した。</li> <li>3 通級指導教室の円滑な運営と新設に向けた準備<br/>千手小学校内の発達障害通級指導教室の円滑な運営を図るとともに、令和5年4月に川治小学校内へ言語障害通級指導教室を新設するにあたり、担当教員の育成等の準備を着実に進めることができた。</li> </ol> |
| 自己評価          | A   |
| A             |   |
| 課題・改善策        | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 通常の学級の担任や管理職を対象とした研修講座を引き続き開催し、各校におけるインクルーシブ教育システムの理念に基づく特別支援教育をより一層推進していく。</li> <li>2 小・中学生の発達障害通級指導教室の利用者増加に伴い、新設に向けた準備を計画的に進める。</li> </ol>  |

評価委員会の評価・意見等

インクルーシブ教育が推進される中、通級指導教室の開設や担当教員の育成が図られていることは評価できる。児童生徒や保護者の意向に沿えるよう、就学指導の在り方の検討や教育支援員等の人的支援の充実を図り、当市の先駆的な特別支援教育のあり方に自信を持って発信して欲しい。

1 学校教育の充実

|               |  |
|---------------|--|
| 項 目           | (4) コミュニティ・スクールの推進   |
| 令和4年度<br>重点目標 | コミュニティ・スクールの推進を図るため、学校運営協議会の組織体制の確立と学校運営協議会委員・コーディネーターの研修会を充実させる。  |
| 取組の状況         | <p>1 学校運営協議会の充実<br/>市内全校でコミュニティ・スクールの事業をスタートさせてから5年が経過する。コロナ禍ではあるが、田畑の先生や伝統行事、地域の歴史や文化の学習支援など各学校運営協議会で工夫しながら、できる限り従来どおりの学校への支援活動を進めてきた。</p> <p>2 研修会の充実<br/>学校支援地域コーディネーターや学校運営協議会委員を対象とする研修会を実施し、様々な知見を得ることができた。</p>              |
| 結果・成果         | <p>4年度も新型コロナウイルス感染症の影響で様々な活動が制限された。各学校運営協議会では5年度以降のウィズコロナ、アフターコロナを見越した学校への支援活動を進めた。</p> <p>県教育委員会の社会教育主事を招聘した研修会を実施した。十日町市の事情をよく知る講師から、今後の事業の進め方等について多くの示唆をいただいた。</p>  |
| 自己評価          | B  |
| B             |  |
| 課題・改善策        | <p>学校運営協議会や地域によって取組状況に温度差がある。個々の協議会の活動を活性化させるために、アフターコロナの状況に配慮しつつ、コミュニティ・スクール研修会や情報交換会の内容を充実させる。</p> <p>学校運営に対して教職員や保護者、地域が「地域・社会総がかりで子供を育む」意識をもち、学校教育の質的向上を図ろうとする取組を支援していく。</p> <p>また、小中一貫教育との関連で、「中学校区ごとの運営協議会設置」についても進めていく。</p> |

評価委員会の評価・意見等

|  |
|--|
| <p>小学校区と中学校区が異なる学校もあることから、学校や地域事情を十分に配慮した上で、「中学校区ごとの運営協議会設置」を進めてほしい。</p> <p>令和4年12月に「新潟県教育の日に関する条例」が制定された。この機会をとらえ、学校と地域との連携の機運を一層盛り上げる取組を推進してほしい。</p> |
|--|

2 教育環境の整備推進

|               |   |
|---------------|---|
| 項 目           | (1) 子どもたちの「望ましい教育環境」整備の推進   |
| 令和4年度<br>重点目標 | 令和元年度に策定した「第2次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針」(以下「方針」という。)における中学校の再編計画について、改めて検討する委員会等を立ち上げ、十日町市の学校教育のあり方を踏まえた上で検討を進める。  |
| 取組の状況         | <p>地域自治組織から提出された「第2次十日町市立小・中学校の学区適正化の進め方についての協議結果」を受け、今後の学区適正化の進め方について、次のとおり改めて考え方を整理し対応することとした。</p> <p>1 小学校の再編計画<br/>基本的な方針に基づき再編の検討を進める。</p> <p>2 中学校の再編計画<br/>方針に定める再編計画を見直し、改めて十日町市の学校教育のあり方等を踏まえた上で検討する。検討に当たっては、十日町市の学校教育について中長期的な視点で検討する委員会等を、保護者や地域が当事者としてかかわるような枠組みの中で、学識経験者の参加を得た上で設置し検討を進める</p> |
| 結果・成果         | <p>中学校の再編計画を含めた学校教育のあり方等を検討する組織として、「十日町市立中学校のあり方検討委員会(以下「検討委員会」という。)」を立ち上げた。</p> <p>委員の構成は多様な意見が反映されるよう、学識経験者、地域住民、児童生徒保護者、学校関係者、社会教育関係者、公募(未就学児保護者)から25名を選任した。</p>   |
| 自己評価          | この検討委員会に対して提言を依頼し、令和4年度は6回の会議を開催した。令和5年度は10回の会議を予定し、令和6年2月に提言をいただく予定である。  |
| B             |   |
| 課題・改善策        | <p>検討委員会では、それぞれ立場の異なる委員から、多様な意見が挙がっている。令和4年度から合計16回の会議を予定しているが、予定どおり提言をいただくために、適切かつ円滑に会議を運営していく。</p> <p>小学校の再編計画についても、地域自治組織と協議のうえ、適切に進めていく。</p>  |

評価委員会の評価・意見等

|  |
|--|
| <p>学区再編計画は、市民の関心が高く難しい問題であるが、中学校区の再編計画の見直しを丁寧に進めていることは評価できる。引き続き議論を深め、当市の地域性や将来的な展望に十分配慮した検討結果となるよう期待する。</p> |
|--|

2 教育環境の整備推進

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <p>項 目</p>            | <p>(2) 学校教育施設・設備の整備</p>  |
| <p>令和4年度<br/>重点目標</p> | <p>1 小中学校の校舎・屋内体育館トイレ改修事業の推進<br/>2 小中学校の特別教室「音楽室・理科室」空調設置事業の推進<br/>3 老朽化した学校施設・設備等の改修及び補修の実施<br/>4 GIGAスクール構想の推進に向けた環境整備</p>   |
| <p>取組の状況</p>          | <p>1 国庫補助金・過疎対策事業債を活用し、松代中学校「校舎・屋内体育館」のトイレ改修工事（洋式化・ドライ化）を実施した。<br/>2 国庫補助金・過疎対策事業債を活用し、小学校6校（中条小、川治小、水沢小、東小、千手小、上野小）の特別教室「音楽室・理科室」に空調設備を設置した。<br/>3 過疎対策事業債を活用し、下条小学校プール改修工事、東小学校駐車場改修工事、吉田小学校屋内体育館屋根改修工事、松代中学校校舎屋上防水改修工事などの大規模改修工事を実施した。<br/>4 小学校教員用のタブレット端末94台と大型提示装置25台を追加で配備した。</p>   |
| <p>結果・成果</p>          | <p>1 トイレ改修工事の実施により、松代中学校の教育環境の快適性が向上した。<br/>【トイレ改修率】校舎：71.4%→75.0%、屋体：81.8%→86.4%<br/>2 空調設置工事の実施により、小学校6校（中条小、川治小、水沢小、東小、千手小、上野小）の教育環境の快適性が向上した。<br/>【エアコン設置率】特別教室：39.8%→46.1%（普通教室100%）<br/>3 老朽化した学校施設・設備等の大規模改修工事の実施により、教育環境が改善した。</p>   |
| <p>自己評価</p>           | <p>4 ICT機器の増設により、タブレット端末を活用した学習環境の整備が推進された。</p>  |
| <p>A</p>              | <p>教育環境の快適性を高めるため、校舎・屋内体育館のトイレ改修、特別教室のエアコン設置、照明設備のLED化改修などの整備を計画的に進める。<br/>学校施設の老朽化対策における長寿命化改修事業は、学区適正化による学区再編の動向に注視しながら、事業計画を適宜見直し、事業の進捗を図る。<br/>学校施設等に係る借地は、閉校施設等の遊休教育財産の整理を優先的に進める中で、借地の返還を引き続き進めていく。また、学校運営に必要な土地については、地権者の意向を伺った中で、財産の取得や寄附などにより借地解消に取り組んでいく。<br/>学校におけるICT環境の整備が推進されたが、タブレット端末の破損が増加傾向にある。児童生徒への指導や修理費用の確保に努める。</p> |

評価委員会の評価・意見等

学校施設の大規模改修などを計画的に進めており評価できるが、小規模な修繕も計画的に進められるよう配当予算の確保に尽力願う。

児童生徒用のタブレットは台数も多く管理が難しいと思うが、機器の管理・設定や数年後の機器更新について、適切に対応してほしい。

3 生涯学習の推進

| 項 目           | (1) 越後妻有文化ホール「段十ろう」のホール事業の企画・運営  |        |    |      |      |    |        |      |    |      |   |    |        |
|---------------|--|--------|----|------|------|----|--------|------|----|------|---|----|--------|
| 令和4年度<br>重点目標 | 越後妻有文化ホールの利用者数の増加を図る。  |        |    |      |      |    |        |      |    |      |   |    |        |
| 取組の状況         | 1 主催・共催事業の実施   |        |    |      |      |    |        |      |    |      |   |    |        |
| 結果・成果         | <p>1 主催・共催事業の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>入場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主催事業</td> <td>5件</td> <td>3,189人</td> </tr> <tr> <td>共催事業</td> <td>2件</td> <td>800人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7件</td> <td>3,989人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 主催事業 … 吉田正記念オーケストラ、NHK お母さんといっしょ宅配便ファンターネ！小劇場<br/>鼓童 十日町公演、野村万作・萬齋 十日町公演、<br/>劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」</p> <p>※ 共催事業 … 林家たい平 独演会、雪音フェスティバル 2023</p> <p>2 ホール利用の状況<br/>利用件数 193件（115件）、利用者数 25,474人（12,370人）<br/>※（）内前年度数値<br/>※ 適切なコロナ対策を実施しながら、段十ろうオープン5周年事業を開催することができ、利用件数及び利用者数ともに大幅な増加となった。</p> |        | 件数 | 入場者数 | 主催事業 | 5件 | 3,189人 | 共催事業 | 2件 | 800人 | 計 | 7件 | 3,989人 |
|               | 件数   | 入場者数   |    |      |      |    |        |      |    |      |   |    |        |
| 主催事業          | 5件   | 3,189人 |    |      |      |    |        |      |    |      |   |    |        |
| 共催事業          | 2件   | 800人   |    |      |      |    |        |      |    |      |   |    |        |
| 計             | 7件   | 3,989人 |    |      |      |    |        |      |    |      |   |    |        |
| 自己評価          | 3 段サポ会員の状況<br>個人 281件（395件）、法人 22件（33件）<br>※（）内前年度数値   |        |    |      |      |    |        |      |    |      |   |    |        |
| B             |  |        |    |      |      |    |        |      |    |      |   |    |        |
| 課題・改善策        | <p>1 オープンから5年が過ぎ、今後は施設設備の保守点検や維持管理に係る費用の増加が見込まれる。継続して安定したホールの管理運営を実施するには事業収入の拡大が重要な課題であり、指定管理業者と連携しながら、新潟県や文化協会連合会などの関係団体と協力し、集客の見込める事業展開を進めていく。</p> <p>2 ポストコロナを見据え、国や県、他市の動向も注視しつつ、必要となる情報収集に努め、集客の増加を目指して、ホール利用における改善や新たな分野の事業への取組を進めていく。</p> <p>3 段サポ会員の増加を図るため、市民の関心の高いアーティストの招聘など、集客の見込める公演事業の開催に努める。</p>  |        |    |      |      |    |        |      |    |      |   |    |        |

評価委員会の評価・意見等

|   |
|---|
| <p>段サポ会員が個人、法人ともに減少している。会員継続や新規加入の勧誘を工夫して、会員増加のための取組を進めてほしい。</p> <p>ホールだけでなく、段十ろう全体の利用者が増加するよう、引き続き指定管理者との連携を図りながら施設の有効活用を進められたい。</p> |
|---|

3 生涯学習の推進

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <p>項 目</p>            | <p>(2) 里山科学館としての企画展示・体験イベントの推進(キョロロ)</p>   |
| <p>令和4年度<br/>重点目標</p> | <p>1 里山の自然や文化等に関する企画展の開催と大地の芸術祭2022の拠点施設の運営<br/>2 里山の自然環境を活用した教育的体験プログラムの提供<br/>3 文化観光の推進</p>  |
| <p>取組の状況</p>          | <p>1 春季「みんなでみつけた里山の1322種のいきもの展」、夏季「煌(きら)めきのチョウ展」、秋冬季「アンコール展 美人林ものがたり」の企画展を開催した。大地の芸術祭の拠点施設として、開催年の受付業務に加え、芸術祭来訪者へ感染症対策として検温や検温済リストバンド配布などを行った。<br/>2 「SDGs」に関する学習や「探究的学習」などの教育的ニーズに対応するため、従来のキョロロ体験プログラムを「自然環境教育プログラム」として再構築し、森の保全作業の体験プログラムなどを新たに追加した。総合的な学習支援として、キョロロでの自然観察指導や校区内の自然観察指導等に職員を派遣した。<br/>3 文化観光推進法にもとづく当市の地域計画「とおかまちスノーカントリーミュージアム」を活用し、収蔵昆虫標本のデジタルアーカイブ化、キョロロの森の散策路整備と管理棟の電気使用環境整備、文化観光資源を活用した冬の教育体験コンテンツの造成、博物館等との連携企画展を実施した。</p>  |
| <p>結果・成果</p>          | <p>1 市内小中学校等の利用を含む入館者数は36,919人で、2022大地の芸術祭の開催もあり、前年度に比べ約61%増加した。<br/>2 「里山の生き物探検」、「キョロロ生物部」等の体験イベントや各種市民協働調査等の31種のプログラムを215回開催し、2,179人の参加を得た。キョロロの森の間伐体験と伐採枝を使ったカトラリー作りを開館20年記念イベントとして開催し、里山の環境保全作業を体験メニュー化した。<br/>総合的な学習等の支援で、越後田舎体験等の教育旅行を含め49の小中学校・保育園等を受入れるとともに、市内8校・園に研究員を派遣した。県内の修学旅行利用は減少したものの市内校や県外校の体験利用は回数・人数とも増加した。<br/>3 研究員1名を配置し収蔵昆虫標本のデジタルアーカイブに取り組んだ。キョロロの森の散策路改修は、外来生物の生息拡大による再ゾーニングのため次年度に繰り越した。冬季教育体験コンテンツを造成し、オンライン講座と日帰りのモニターツアーを実施した。博物館等との連携企画展として、春季と秋冬季の企画展の博物館での出張ミニ展示と、情報館を会場とする3館連携企画展にて「ムシが育んだ越後妻有の伝統美」の展示を行った。</p> |
| <p>自己評価</p>           | <p>4 施設利用の効率化や維持管理経費節減のため、旧食体験工房の厨房器具の撤去及び館内展示照明のLED化を実施した。</p>  |
| <p><b>B</b></p>       | <p>コロナ禍で3年間休止した「つまり市民里山学会」を3月に開催し、市民の学習や研究成果の発表の場を提供した。</p>  |

|        |   |
|--------|---|
| 課題・改善策 | <p>今年度から開始した里山の自然環境を活用した生物多様性の保全などの社会的課題を体験型で学ぶ教育プログラムを、市内校への総合学習支援や来訪者への文化観光資源として活用していく。そのための企画や指導を担当する専門職員体制の充実を図る。</p> |
|--------|---|

評価委員会の評価・意見等

|  |
|--|
| <p>コロナ禍であっても一定の入館者数を確保しており、キョロロが提供している展示やプログラムは魅力あるものと評価できる。今後も、必要な専門職員を継続的に確保し、キョロロならではの特色ある事業の推進に期待する。</p> |
|--|

4 公民館活動の推進

|               |  |      |       |       |       |       |
|---------------|--|------|-------|-------|-------|-------|
| 項 目           | (1)地域全体で子どもを育てる環境づくりの推進  |      |       |       |       |       |
| 令和4年度<br>重点目標 | 1 はぐくみのまちづくり運動に関連する事業の展開<br>2 学習支援及び社会性醸成のための夏（冬）休み寺子屋塾の開催<br>3 社会で生きる力を培うための通学合宿の開催   |      |       |       |       |       |
| 取組の状況         | 1 はぐくみのまちづくり運動の具体的な取組として家庭教育支援教室や各地区で特色あるコミュニティ・スクールに関連する様々な事業を実施した。<br>2 夏（冬）休み期間中の学習支援や社会性を培うための体験学習を盛り込んだ寺子屋塾を実施した。<br>3 家庭を離れて集団で生活することにより社会性を培うための通学合宿については、コロナ対策のため中止となった。   |      |       |       |       |       |
| 結果・成果         | 「下条エコメディア協議会」による取組（はぐくみのまちづくり運動と連動）が「早寝早起き朝ごはん」運動において文部科学大臣賞を受賞した。また、吉田地域では、学校と地域がSDGsプロジェクトとしてイベントを企画開催する新たな取組も始まった。<br>市内全体での幼少年教育事業は、年間を通してコロナ対策が必要となる中で、講座やイベントの開催方法等を工夫しながら、可能な限り開催に努め、前年度を上回る開催回数、参加者数となった。<br>寺子屋塾については、「理科実験教室」をはじめ体験学習を加えた構成にするなど工夫したが、前年度よりも参加者数は減少となった。           |      |       |       |       |       |
| 自己評価          | 事業内容   |      | R4年度  | R3年度  | R2年度  | R元年度  |
|               | 幼少年教育事業  | 回数   | 274   | 231   | 202   | 250   |
| B             |  | 参加者数 | 4,830 | 4,792 | 3,496 | 6,673 |
|               | うち寺子屋塾   | 参加者数 | 176   | 288   | 226   | 325   |
|               | うち通学合宿   | 参加者数 | 0     | 0     | 0     | 76    |
| 課題・改善策        | 1 幼少年教育事業は少子化に伴い対象者が減少しているため、参加者数の増加は難しいが、事業に対する需要もあることから、今後は継続的なフォローをしつつ、事業内容の更なる改善を図る。<br>2 2泊3日で実施してきた4地区館（吉田・水沢・松代・松之山）の通学合宿は、令和4年度も中止となり、3年連続で開催することはできなかった。協力者の確保など課題もあることからニーズに合った代替え事業を開催する。<br>3 今後、コミュニティ・スクールとの連携が強く求められることから、学校及び地域関係団体と協議・協力しながら子どもを育てていく環境づくりに取り組む動きを全域に広げていく。 |      |       |       |       |       |

評価委員会の評価・意見等

寺子屋塾の内容を改善したり、地域の実情に応じた子どもを育む取組を新たに展開したりしていることは評価できる。通学合宿については、子どもたちの社会性を育む代替え事業を検討し進めてほしい。

5 情報館活動の推進

|               |  |
|---------------|--|
| 項 目           | (1)図書館サービスの充実  |
| 令和4年度<br>重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの読書活動の推進に努め、学校図書館を支援する。</li> <li>2 利用者の利便性の向上を図る。</li> <li>3 市民の課題解決に資する資料を収集・展示し、レファレンスサービス（調べもの、探しもののお手伝い）を充実する。</li> </ol>  |
| 取組の状況         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 館内での読み聞かせなどの取組にとどまらず、出張貸出やボランティアの派遣など、学校や保育施設に出向く取組を実施した。</li> <li>2 障がいの有無に関係なく誰もが利用しやすい資料を収集し、Webサービスの普及を進め、5年3月にセルフ貸出返却機を設置した。</li> <li>3 市民の要求に応えるべく、必要な資料を収集・展示するとともに、職員の資質向上を図りながらレファレンスサービスを行った。</li> </ol>  |
| 結果・成果         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 出張貸出は、14か所で延べ27回、2,834冊の貸出があった。また、ボランティアを17か所に延べ91回、延べ123人派遣して、延べ8,309人の子どもたちなどに本や絵本の読み聞かせを行った。これらは何れも3年度を上回った。<br/>学校図書館には、図書委員会サミットと図書館担当者研修会を開催したり、図書の廃棄や修理などを補助したりして支援した。</li> <li>2 バリアフリー対応の図書101点、DVD2点、CD6点を購入し、関連する資料・機器・サービスを館内に展示して紹介した。<br/>3年10月に開始したWebサービスの利用登録者は716人（3年度353人）となり、全利用登録者の3.6%（3年度1.8%）になった。</li> <li>3 地域資料、大活字本、シニアライフ、大地の芸術祭、読み聞かせ、感染症のコーナーを設けて、合わせて5,560点の貸出があった。また、研修を18回受講・開催して職員の資質向上を図り、95件（3年度185件）のレファレンスサービスを行った。</li> </ol> |
| 自己評価          |  |
| <b>B</b>      |  |
| 課題・改善策        | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子ども読書活動推進計画に基づいて、保育施設や学校、ボランティアと連携し、保護者の意識を高めながら取組を進めていく。</li> <li>2 Webサービスの利用が期待どおりに進んでいない。Webサービスは、利用者の利便性の向上のみならず業務の効率化を図ることのできるため、市民への広報を強めて利用登録者を増やしていく。</li> <li>3 レファレンスサービスの利用が半減した。課題解決の拠り所になるように、このサービスの利用を広く市民に呼びかけていく。</li> </ol>  |

評価委員会の評価・意見等

地域の実情に応じた出張貸出やボランティア派遣などを活発に実施し、情報館に来訪された方だけでなく、広くサービスを実施している点は高く評価できる。  
より多くの方が図書館を便利に活用できるよう、Webサービスやレファレンスサービスの利用者の増加を図り、引き続きサービスの向上に努めてほしい。

## 6 文化財の保護と活用

|               |   |
|---------------|---|
| 項 目           | (1) 文化財の保護と活用   |
| 令和4年度<br>重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 埋蔵文化財調査と出土資料の整理、データ蓄積、発掘調査報告書の編集及び刊行</li> <li>2 文化財保存活用地域計画の策定</li> <li>3 火焰の都整備事業の推進</li> <li>4 指定文化財・地域歴史資料の保存と活用の推進</li> </ol>  |
| 取組の状況         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各種開発に伴う発掘調査では、試掘・確認調査7件、本発掘調査2件を実施した。試掘・確認調査結果について、令和4年度十日町市内遺跡試掘・確認調査報告書を刊行した。本発掘調査（令和3年調査）について、杣形遺跡発掘調査報告書を刊行した。</li> <li>2 文化財保存活用地域計画策定のため文化財の把握調査、文化財所有者等へのヒアリング、所有者や関係団体へのアンケートを行った。十日町市文化財保存活用地域計画策定協議会を開催して、策定方針、計画の骨子、関連文化財群、保存活用区域の設定等や、保存活用に関する措置と保存活用推進体制の素案を検討した。</li> <li>3 笹山遺跡の発掘調査および整理調査のほか、縄文体験観光プログラム事業を実施した。</li> <li>4 国・県・市指定（登録）文化財の保存・継承活動を支援するとともに、文化財の活用事業を実施した。古文書・古写真・きものなど収集資料等を保存・整理した。</li> </ol>  |
| 結果・成果         | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各種開発に対する事前調査で、新たに1遺跡を発見することができた。木落大原遺跡本発掘調査では、縄文時代の土器・石器が出土し、焼土跡や集石土坑を確認することができた。木落大原南遺跡では、前期、晩期の土器・石器が出土し、集石土坑を確認することができた。</li> <li>2 文化財の把握調査の結果、十日町中心市街地の近代和風建築の所在（外観調査16か所、抽出調査5か所）を確認し、新たな保存活用区域の設定に反映させた。関係者アンケートやヒアリング結果をもとに課題を把握し、計画素案の参考にした。計画の骨子、関連文化財群、保存活用区域の設定について検討し、保存活用に関する措置や保存活用推進体制の素案を作成した。</li> <li>3 笹山遺跡の発掘調査および整理調査では、令和2年に発掘調査を実施した笹山縄文館南側（25㎡）について、最終的な調査を実施し、終了した。調査報告書に掲載予定の縄文土器の補強復元作業と凶化作業、石器の凶化作業を実施した。<br/>縄文体験観光プログラム事業として、国宝出土地・笹山遺跡と新博物館を結ぶ縄文体験プログラムのモニターツアー1回、本番7回（オンライン1回含む）を実施した。</li> </ol> |

|        |   |
|--------|---|
|        | <p>4 国・県・市指定（登録）文化財の維持管理や保存修理、継承活動に対する補助金を42件交付した。</p> <p>古文書や古写真については、十日町市古文書整理ボランティアと協働して整理を進め、博物館・「森の学校」キョロロ・情報館との連携企画展「第14回山内写真館資料写真展」を開催し、写真40点を展示した。また、柳染色加工所「ろうけつ染め見本裂データベース」（185点）を国立民族学博物館と協働して再構築し、両館のホームページで閲覧できるようにした。</p>  |
| 自己評価   |   |
| B      |   |
| 課題・改善策 | <p>1 埋蔵文化財については、発掘調査が計画通り進む一方で、出土資料の整理が遅れており、積み残された未刊行の発掘調査報告書を刊行していかなければならない状況が、解消されることなく続いている。市・県指定文化財の指定を見据えた上で、長期的な刊行計画を作成して人員体制を整えるとともに、また、作業を効率的に行うため、出土資料の図化や図版の編集作業は、専門業者による作業委託を積極的に活用していく。</p> <p>2 十日町市文化財保存活用地域計画に基づき、中・長期的視点を持って、文化財の把握・調査研究・保存・活用・周知等の具体的措置を推進する。併せて、所有者・行政の各部局・関係団体等が連携して、文化財の保存、歴史文化を生かした地域活性化、文化観光等の推進体制を構築し、文化財を次世代に継承していかなければならない。</p> <p>3 火焰の都整備事業については、笹山遺跡の史跡整備では長期的な整備計画を策定した上で、中条地区振興会をはじめ関係者の協力を得ながら用地買収を進めるとともに、NPO法人や関連団体と連携しながら、普及啓発事業や情報発信事業を展開していく。また、縄文体験観光プログラム事業では、市内部の観光・産業部局や民間事業者との協働により、国宝出土地ならではの縄文体験プログラムを継続して実施していかなければならない。</p> <p>4 指定文化財については、過疎化や高齢化といった社会情勢を背景に、地域の文化財を保存・継承することが困難になっている。一方で、文化財を地域資源・観光資源として活用する気運も高まっており、文化財の活用を通じた地域の活性化に対する支援を積極的に行っていく。</p> |

評価委員会の評価・意見等

毎年の発掘調査が進み、今後も出土資料が増え続けることが見込まれる。適正な人員を確保するとともに業務委託を積極的に活用し、資料整理が計画的に進むよう努めてほしい。

7 博物館事業の推進

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <p>項 目</p>            | <p>(1) 博物館事業の推進</p>   |
| <p>令和4年度<br/>重点目標</p> | <p>1 展示及び教育普及事業の充実<br/>2 文化観光拠点施設としての文化観光の推進<br/>3 博物館収蔵資料の整理・調査・研究・活用</p>  |
| <p>取組の状況</p>          | <p>1 展示事業として、秋季特別展「縄文時代の始まりを探る」、春季企画展「市民からの贈り物」、夏季企画展「里山の石仏 ー松之山の祈りと信仰ー」、冬季企画展「究極の雪国 食べものがたり」、特設展示「昔の道具」を開催した。また、分じろう「まちの文化歴史コーナー」において通年で資料を展示したほか、十日町きものまつりにあわせて「まちなか国宝展示」、十じろうでの「十日町のきもの歴史展」を開催した。<br/>教育普及事業として、博物館講座「究極の雪国を学ぶ」(全3回)、古文書入門講座(全12回)、子ども博物館(全2回)のほか、4月から12月までの第2・4日曜日に体験メニュー「縄文体験」を提供した。また、市内の小学校と協力した博学連携の総合学習を実施した。</p> <p>2 市の文化観光推進地域計画に基づき、所蔵資料のデジタルアーカイブ化、キョロロ及び情報館と連携した企画展の開催、文化に関わる技術を伝承するための人材育成、所蔵資料を生かした雪国の生活体験プログラムの開発、文化財を活用した商品開発の各事業を実施した。</p> <p>3 市民からの寄贈・寄託により古文書などの歴史資料や民具などを収集した。また、「十日町市博物館研究紀要第2号」をオンラインで公開した。重要有形民俗文化財「十日町の積雪期用具」の燻蒸作業、新館収蔵庫への移動作業を行った。</p> |
| <p>結果・成果</p>          | <p>1 4年度の博物館入館者は27,735人で、昨年比で16%増加した。企画展示期間中の入館者は秋季特別展4,593人、春季企画展3,771人、夏季企画展3,630人、冬季企画展2,586人である。特設展示は小学校3年生の総合学習での利用で8校164人が見学した。<br/>秋季特別展は、本ノ木・田沢遺跡群の国史跡指定3周年を記念して開催した。当市は日本屈指の縄文時代草創期遺跡の密集地域であり、県内外から希少な資料を集めた展示は好評を得た。企画展示は、市民の寄贈資料の活用や、博物館友の会研究グループとの協働によって開催し、博物館の基本理念に沿ったものとなった。<br/>また、博物館講座は計46人、古文書入門講座は延べ109人、子ども博物館は計14人の受講者があった。博物館講座は、雪国の暮らしや歴史を衣・食・住の観点から学ぶ講義で、受講者の関心は高かった。</p>  |

|          |   |
|----------|---|
|          | <p>博学連携事業では、鑑島小・中条小・西小の3校と協力して、土器づくりや出前授業、遺跡や博物館見学などの総合学習を実施した。</p> <p>2 文化観光の拠点施設として、地域の文化資源の魅力を増進し、わかりやすく伝えるためのシステムづくりの準備が整いつつある。また、来訪者が地域の文化への理解をより深めるためのプログラム開発や商品開発において、観光事業者などとの連携も進めることができた。</p>   |
| 自己評価     | 3 4年度に市民から寄贈・寄託された資料は40点で、活用に向けて整理した。また、重要有形民俗文化財「十日町の積雪期用具」を燻蒸し、新博物館の収蔵庫に収納した。   |
| <b>B</b> |   |
| 課題・改善策   | <p>1 地域の歴史文化について「市民・来館者ととともに探求し、保全・継承し、発信する」活動を継続していくため、市民や来館者のニーズを捉え、長期的な計画によって事業に取り組む。また、活動を周知し、来館者増につなげるため、効果的な広報やSNSを活用したファンづくりをさらに推進する。</p> <p>2 日本遺産「究極の雪国とおかまち」スノウリッチ・ストーリーズにおける文化観光を進めるうえで、博物館の役割は大きい。地域計画掲載事業を確実に実施して、来館者の満足度向上を図るとともに、市内事業者とのさらなる連携、観光客の市内への周遊促進にも取り組む。</p> <p>3 近年、転居や転出に伴う家屋や土蔵の取り壊しが増加傾向にあり、資料の保管場所の消失・滅失が懸念される。適切な保管場所を確保するとともに、活用につなげるための整理作業を継続して進めていく。また、市内に点在する資料収蔵施設は老朽化が進み、収蔵量も飽和状態である。旧博物館収蔵庫も含め、収蔵施設の再編を検討していく。</p> |

評価委員会の評価・意見等

総合学習における小学生の来館や、小学校への出前事業など、博学連携事業として小学生が博物館に携わる機会が増えていることは評価できる。

引き続き、文化観光の拠点施設として、地域の文化資源の魅力を発信することで、入館者の増加に努めてほしい。

8 スポーツの振興

| <p>項 目</p>            | <p>(1) スポーツ振興事業の推進</p>   |         |              |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
|-----------------------|--|---------|--------------|--|--|-----|-----|-----|-------------|---------|---------|---------|------------|-------|--|--|-----|-----|-----|-------------|--------|--------|--------|-------------|------|------|------|----------|--------|------|----|---|--------|--------|--------|
| <p>令和4年度<br/>重点目標</p> | <p>1 総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員と連携し、各地域における生涯スポーツを推進する。<br/>2 全国規模の大会として、第101回全日本スキー選手権大会を誘致・開催し、交流人口増加による地域経済の活性化を図る。<br/>3 ジュニアの競技力向上を図るため、北信越大会以上に出場する選手を支援する。<br/>4 中学校の休日の部活動の地域移行について、令和8年度の本格実施に向け、体制構築に取り組む。</p>  |         |              |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
| <p>取組の状況</p>          | <p>1 総合型地域スポーツクラブによる市民が気軽に参加できる教室や講習会などを開催した。スポーツ推進委員等と連携し各種スポーツ大会や高齢者向けのスポーツ教室などを開催した。<br/>2 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、全日本スキー選手権大会を誘致し、国内トップ選手による大会を開催した。<br/>3 スポーツ派遣費補助事業として、北信越大会以上の大会に出場する選手に補助金を交付し支援した。<br/>4 「休日の部活動地域移行準備委員会」を設置し、令和5年度からの試行種目の設定及び受け入れ体制の整備を図った。</p>   |         |              |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
| <p>結果・成果</p>          | <p>1-①総合型地域スポーツクラブの活動実績<br/>新型コロナウイルス感染拡大により一部中止したが、予防対策を徹底して開催することにより、参加者は微増した。</p> <table border="1" data-bbox="488 1417 1390 1538"> <thead> <tr> <th rowspan="2">クラブ名</th> <th colspan="3">教室・イベント参加延人数</th> </tr> <tr> <th>4年度</th> <th>3年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ネージュスポーツクラブ</td> <td>20,464人</td> <td>19,517人</td> <td>17,924人</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-②各地域のスポーツ大会や教室開催実績（十日町市全域）<br/>市民スポーツ大会は競技団体等と連携し、全17競技を開催した。また、河岸段丘ウォークは十日町市通過コースが再開したが、感染症対策のため、コロナ前の半数程度の参加数であった。</p> <table border="1" data-bbox="488 1733 1394 1951"> <thead> <tr> <th rowspan="2">スポーツ大会・教室名</th> <th colspan="3">参加延人数</th> </tr> <tr> <th>4年度</th> <th>3年度</th> <th>2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民スポーツ大会（夏）</td> <td>1,325人</td> <td>1,139人</td> <td>1,198人</td> </tr> <tr> <td>市民スポーツ大会（冬）</td> <td>673人</td> <td>252人</td> <td>661人</td> </tr> <tr> <td>河岸段丘ウォーク</td> <td>1,320人</td> <td>978人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,318人</td> <td>2,369人</td> <td>1,859人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 全日本スキー選手権大会の開催による効果<br/>第101回全日本スキー選手権大会を開催し、163人の選手が出場</p> | クラブ名    | 教室・イベント参加延人数 |  |  | 4年度 | 3年度 | 2年度 | ネージュスポーツクラブ | 20,464人 | 19,517人 | 17,924人 | スポーツ大会・教室名 | 参加延人数 |  |  | 4年度 | 3年度 | 2年度 | 市民スポーツ大会（夏） | 1,325人 | 1,139人 | 1,198人 | 市民スポーツ大会（冬） | 673人 | 252人 | 661人 | 河岸段丘ウォーク | 1,320人 | 978人 | 0人 | 計 | 3,318人 | 2,369人 | 1,859人 |
| クラブ名                  | 教室・イベント参加延人数   |         |              |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
|                       | 4年度  | 3年度     | 2年度          |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
| ネージュスポーツクラブ           | 20,464人  | 19,517人 | 17,924人      |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
| スポーツ大会・教室名            | 参加延人数  |         |              |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
|                       | 4年度  | 3年度     | 2年度          |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
| 市民スポーツ大会（夏）           | 1,325人   | 1,139人  | 1,198人       |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
| 市民スポーツ大会（冬）           | 673人   | 252人    | 661人         |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
| 河岸段丘ウォーク              | 1,320人   | 978人    | 0人           |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |
| 計                     | 3,318人   | 2,369人  | 1,859人       |  |  |     |     |     |             |         |         |         |            |       |  |  |     |     |     |             |        |        |        |             |      |      |      |          |        |      |    |   |        |        |        |

|          |   |      |     |     |     |      |      |      |     |
|----------|---|------|-----|-----|-----|------|------|------|-----|
|          | <p>した。なお、期間中に 99 人が市内宿泊施設を利用した。(延べ 498 人泊)</p> <p>3 スポーツ派遣費補助金交付実績<br/>小中学生の北信越・全国・国際大会出場人数<br/>北信越・全国大会が、新型コロナウイルス感染症対策を講じ再開されたことや競技力の向上により出場者が増加した。</p> <table border="1"> <tr> <td>年度別</td> <td>4年度</td> <td>3年度</td> <td>2年度</td> </tr> <tr> <td>出場人数</td> <td>167人</td> <td>161人</td> <td>37人</td> </tr> </table>  | 年度別  | 4年度 | 3年度 | 2年度 | 出場人数 | 167人 | 161人 | 37人 |
| 年度別      | 4年度   | 3年度  | 2年度 |     |     |      |      |      |     |
| 出場人数     | 167人  | 161人 | 37人 |     |     |      |      |      |     |
| 自己評価     | 4 試行種目の設定<br>令和5年度から陸上競技、バスケットボール、ソフトテニスの3種目で試行することを決定し、受け入れ体制を構築した。  |      |     |     |     |      |      |      |     |
| <b>B</b> |   |      |     |     |     |      |      |      |     |
| 課題・改善策   | <p>1 総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員等と連携し、引き続き、市民のニーズ把握に努め、誰もが参加しやすい安全安心な教室や大会などを企画・開催し、参加人数の増加を図る。</p> <p>2 大規模改修した陸上競技場や空調設備が完備した武道館を活用し、市内宿泊事業者や各競技団体、スポーツコミッションと連携を図り、引き続き全国規模の大会やスポーツキャンプの誘致を推進する。</p> <p>3 全国大会等へ出場する選手への「激励」という事業趣旨を踏まえ、事業名称を「十日町市青少年の文化スポーツ派遣事業に関する補助金」から「十日町市全国大会等出場激励金」に改める。<br/>また、競技によって全国大会等の開催回数に差が生じている状況を踏まえ、交付条件を設けるなどの見直しを行い、その効果を検証する。</p> <p>4 円滑な移行・運営を図るための予算の確保、試行種目の拡大等を推進する。</p> |      |     |     |     |      |      |      |     |

評価委員会の評価・意見等

競技人口が減少する中、スポーツ教室・イベントの参加人数や、小中学生の上位大会出場人数が増加していることは評価できる。引き続き総合型地域スポーツクラブや各競技団体と連携を図り、生涯スポーツの推進とジュニアの競技力向上に尽力願う。また、将来的な中学校部活動の地域移行を見据えた取組を進めてほしい。

8 スポーツの振興

|               |   |          |          |          |
|---------------|---|----------|----------|----------|
| 項 目           | (2)スポーツ施設の管理と整備   |          |          |          |
| 令和4年度<br>重点目標 | 指定管理者制度による民間活力を用い、施設の有効かつ適切な管理運営に努めるほか、利便性向上のための施設整備及び改修を行う。  |          |          |          |
| 取組の状況         | <p>1 令和3年度に引き続き、十日町、中里地域の9施設をNPO法人ネージュスポーツクラブに、川西地域の4施設をNPO法人ほほえみに、当間多目的グラウンド及びクラブハウスを(株)当間高原リゾートに指定管理委託した。</p> <p>2 施設の改修では、十日町市武道館の耐震補強及び改修工事、十日町市総合体育館の監視カメラ更新工事などを行った。</p> <p>3 令和2年度に廃止した岩野山運動広場の施設撤去工事を行った。</p>   |          |          |          |
| 結果・成果         | <p>体育施設の年間利用者の推移</p> <p>各施設において、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底したことにより、前年度から利用者数は増加した。</p> <p>しかしながら、感染拡大前の状況までには回復していない。<br/>(令和元年度：326,226人)</p>  |          |          |          |
| 自己評価          | 年度別   | 4年度      | 3年度      | 2年度      |
| <b>B</b>      | 利用者数  | 246,788人 | 212,338人 | 203,076人 |
| 課題・改善策        | <p>1 指定管理者制度は、利用者の多様なニーズに対応し、サービスの向上と経営の効率化を図るために有効である。引き続き、指定管理者と十分な連携を図りながら、利用者の増加に努める。</p> <p>2 安全安心の確保、長寿命化の推進、財政負担の平準化等を図るため、令和2年度に策定した十日町市スポーツ施設長寿命化計画に基づき、今後の施設の整備改修を計画的に進めていく。</p> <p>3 老朽化した施設や利用頻度の少ない施設は、利用団体や地元関係者と協議し今後の運営について検討していく。施設の廃止や借地料の解消を計画的に進めていく。</p> |          |          |          |

評価委員会の評価・意見等

指定管理者制度を有効に活用し、利用者のニーズに対応するとともに事業経費の効率化に努めている点は評価できる。

令和4年度は武道館の改修工事を行ったが、引き続き体育施設の改修を計画的に進め、利用者の利便性向上に努めてほしい。

## 9 教育委員会の活動

|                |       |                              |
|----------------|-------|------------------------------|
| 教育長            | 渡辺正範  | (任期：令和3年5月18日～<br>令和6年5月17日) |
| 教育委員（教育長職務代理者） | 庭野三省  | (任期：令和元年5月18日～<br>令和5年5月17日) |
| 教育委員（保護者委員）    | 浅田公子  | (任期：令和4年5月18日～<br>令和8年5月17日) |
| 教育委員           | 廣田公男  | (任期：令和2年5月18日～<br>令和6年5月17日) |
| 教育委員（保護者委員）    | 渡邊奈々子 | (任期：令和3年5月18日～<br>令和7年5月17日) |

※令和4年5月18日現在

### (1) 教育委員会の開催

#### 4月定例会（令和4年4月26日）

- 議案
- ・第76回新潟県美術展覧会十日町巡回展実行委員会設置要綱の制定について
  - ・十日町市指定文化財の指定諮問について

#### 5月定例会（令和4年5月16日）

- 議案
- ・令和4年市議会第2回定例会提出補正予算案の承認について

#### 7月定例会（令和4年7月15日）

- 報告・協議事項のみ

#### 7月臨時会（令和4年7月26日）

- 議案
- ・十日町市指定文化財の指定について
  - ・十日町市学区適正化の進め方について

#### 8月定例会（令和4年8月23日）

- 議案
- ・令和4年市議会第3回定例会提出補正予算案の承認について

#### 9月定例会（令和4年9月30日）

- 議案
- ・独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付に係る共済掛金

に関する要綱の制定について

- ・中学校のあり方検討委員会設置要綱の制定について

**10月定例会**（令和4年10月26日）

報告・協議事項のみ

**11月定例会**（令和4年11月25日）

- 議案
- ・令和4年度（令和3年度実績）十日町市教育委員会事務の管理・執行状況点検・評価報告書の承認について
  - ・令和4年市議会第4回定例会提出補正予算案の承認について

**12月定例会**（令和4年12月23日）

- ・越後妻有文化ホール・サポーターズ「段サポ」実施要綱の一部を改正する告示の制定について

**1月定例会**（令和5年1月25日）

- 議案
- ・十日町市越後妻有文化ホール条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・十日町市博物館条例の一部を改正する条例案の承認について

**2月臨時会**（令和5年2月8日）

- 議案
- ・令和4年市議会第1回定例会提出補正予算案の承認について

**2月定例会**（令和5年2月17日）

- 議案
- ・十日町市小中一貫教育基本計画の改訂について
  - ・十日町市体育施設条例及び十日町市都市公園条例の一部を改正する条例案の承認について
  - ・十日町市学校給食費徴収規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・令和5年市議会第1回定例会提出令和5年度当初予算案の承認について
  - ・令和4年度末令和5年度初学校管理職人事異動に関する承認について

**3月臨時会**（令和5年3月10日）

- 議案
- ・十日町市教育委員会職員人事異動の内示について

**3月定例会**（令和5年3月27日）

- 議案
- ・十日町市教育委員会における十日町市個人情報の保護に関する法律施行細則の制定について
  - ・十日町市教育委員会における十日町市保有個人情報等取扱管理規程の

制定について

- ・十日町市立学校文書事務取扱要綱の一部を改正する訓令の制定について
- ・十日町市U I ターン促進奨学金等返還支援事業補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について
- ・令和5年度十日町市小中一貫教育実施計画の策定について
- ・十日町市公民館条例施行規則の一部を改正する規則制定について
- ・十日町市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則制定について

※教育委員会会議録は、十日町市ホームページで公表

## (2) その他の活動

- 令和4年4月1日 教職員辞令交付式
- 令和4年5月3日 十日町市成人式
- 令和5年2月17日 十日町市総合教育会議
- 令和5年3月6日 中学校卒業式
- 令和5年3月24日 小学校卒業式

※関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び新潟県市町村教育委員会連合会定期総会は新型コロナウイルス感染症予防のため書面決議となった。

## 資料

### <事務の点検・評価について>

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政の基本方針のもと、教育長、事務局が教育行政事務を執行するものである。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後チェックすること、また、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし教育活動を充実することが求められている。

このようなことから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下、「地教行法」という。)」の一部を改正する法律が平成19年6月に公布され、平成20年度から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理・執行について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない(地教行法第26条第1項)ことになった。

### <十日町市教育委員会事務評価委員名簿>

| 職名   | 氏名   | 備考     |
|------|------|--------|
| 委員長  | 尾身辰二 |        |
| 副委員長 | 佐藤幸雄 | 社会教育委員 |
| 委員   | 関口清美 |        |
| 委員   | 池田克也 | 副市長    |

※任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日

### <委員会開催>

| 回数  | 年月日       | 内容                  |
|-----|-----------|---------------------|
| 第1回 | 令和5年7月11日 | 教育委員会各課の事業について点検・評価 |
| 第2回 | 令和5年7月25日 | 点検・評価報告書とりまとめ       |